

幹事会報告

2022年4月9日土曜日、第16回青年劇場全国後援会幹事会がZOOMによるオンライン形式で開催されました。コロナ禍により前回の幹事会からこのような形で行ってありますが、「実際に東京へ出向くことは難しいけれど、ネットであれば参加できる」という幹事からの声や、ふだん参加できない劇団員も、ネットであれば幹事さんの顔を見ることができる、という利点もあるようです。

当日は17時開会、まず全国後援会係を代表して吉村直がごあいさつ、このたび係の責任者を船津基に交代することをご報告いたしました。

続いて代表幹事の太田政男氏から開会のごあいさつ、同代表幹事の木村浩則氏による司会進行で議事へと入っていきました。劇団の近況報告、並びに今回の最大の議題でもあります募金活動へのお願いを、劇団前代表の福島明夫と新運営委員長の北直樹からさせていただき、質疑・討議となりました。

「2024年の劇団創立60周年をこえて、これからも青年劇場が全国へ芝居を届けていけるよう、応援していきたい」等のご意見をいただき、「『コロナに負けず、未来につなぐ』青年劇場応援三〇〇〇万円募金」について、全国後援会として取り組むことを了承いただきました。

次に全国後援会会員拡大について、これまでとこれからの取り組みに対しての意見交換が行われました。幹事からは「会員同士の横のつながりを作るため、相互に発信できるような場を設けたらどうか」「Zoomを活用して、新幹事や新会員を迎えた時には歓迎会のようなことが気軽にできたら」など、さまざまなご意見が寄せられ、新たな視点をいくつもいただきました。

続いて新幹事会体制についての提案、これまで長きにわたりご尽力いただいた、窪邦雄様の幹事退任と、高垣章二様の顧問退任が了承されました。会計報告・会計監査報告を経て、各幹事からの近況報告をいただき、約2時間をもって幹事会は無事閉会いたしました。

対面であればここから交流会となるところを今回はZOOMで行ってみようということで、各自飲み物やおつまみを用意し、劇団でも係が集まり、幹事会では話さきれなかったことなどを画面越しではありますが賑やかに、和やかに交流しました。

(文責:事務局 菅沢)

青年劇場全国後援会役員 (敬称略/五十音順)

【代表幹事】

太田政男 埼玉県ふじみ野市在住、大東文化大学前学長名誉教授
木村浩則 埼玉県ふじみ野市在住、文京学院大学教授

【幹事】

安念智康 北海道江別市在住、ドラマシアターども主宰
大城辰彦 沖縄県那覇市在住、沖縄県中小企業家同友会事務局参与
小川洋子 兵庫県在住、作家「博士の愛した数式」原作者
鍛治富夫 富山県高岡市在住、鍛治法律事務所 弁護士
佐原啓理 岡山県岡山市在住、倉敷市立工業高校非常勤講師、
自立援助ホーム学南ホームホーム長

諏訪普現 福井県越前市在住、住職
高良鉄美 沖縄県那覇市在住、参議院議員、
琉球大学法科大学院名誉教授

本田 宏 埼玉県幸手市在住、医師
山本一規 福岡県古賀市在住、医師

【監事】

近藤隆彦 栃木県足利市在住、歯科医

【顧問】

林 弘 静岡県浜松市在住、元浜松高校演劇教室運営委員長

〈退任〉

窪 邦雄 富山県富山市在住、元富山県高校演劇研究会理事
高垣章二 岡山県岡山市在住、元玉野高校教諭

(二〇二三年四月現在)